

自社の煙突は安全か？ 御社の決断が煙突を蘇らせる！

# 大正鉄筋コンクリート株式会社

## はじめに

近年、人間同様に**煙突の高齢化**が進んでいます。特に、**1981年以前**に建造された煙突では**現在の耐震基準に対応できていません**。そこで必要となるのが、定期的な健康診断ならぬ**「煙突の点検調査」**と言えます。煙突の点検調査を行い、診断結果やお客様のご要望に答え、**最善の補修計画**を提案させていただきます。

## 煙突のライフサポートをさせていただきます

弊社では、補修後も煙突を定期的に点検し、長いスパンでサポート致します。



## 補修補強工事の必要性

1. コンクリート剥離による落下物の災害を防ぐ
2. 劣化状態を進行させない/遅らせる
3. 保有耐力向上による安全の確保

## 点検調査

煙突の形状・状態・周囲環境から足場、高所作業車、ゴンドラ等を駆使し、最適な調査方法を実施致します。

- a. ひび割れ状況
- b. 外壁の浮きの有無
- c. コンクリートの強度
- d. 中性化の度合い
- e. 塩化物の含有量
- f. 鉄筋の状態
- g. 煙突内部状況
- h. その他、煙突に合わせた項目

## 調査報告

調査結果から煙突の現状を具体的に数値化し、補修の有無を迅速に報告致します。

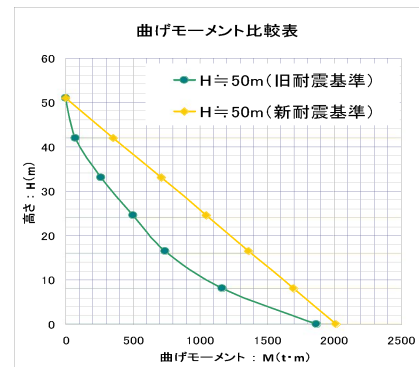
## 補修方法の立案

調査結果とお客様のご要望から、最適な補修方法を提案致します。

	工法	工期	費用
稼動中施工	(A)+(B) 断面補修+外壁塗装 短期間に施工。定期的な補修が必要。	↑	↑
	(C) 炭素繊維補強 工期は掛かるが耐震性が向上。		
休煙中施工	(D) 内筒化 経年劣化の最大要因を改善。 (C)+(D) 現時点で考えられる最高の恒久工法。	↑	↑

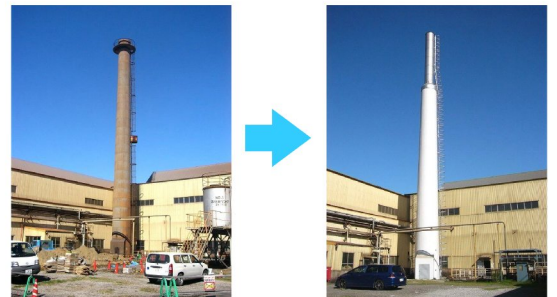
## 耐震構造診断・設計

炭素繊維補強の場合、煙突の劣化状態から耐震強度を算出し、現在の耐震基準と比較します。基準を満たす耐震強度まで炭素繊維の使用量を算出致します。



## 安全な補修・補強工事

独自の特殊足場、専属の熟練工により安全で確実な施工を致します。



内筒化+炭素繊維補強



炭素繊維補強+外壁塗装